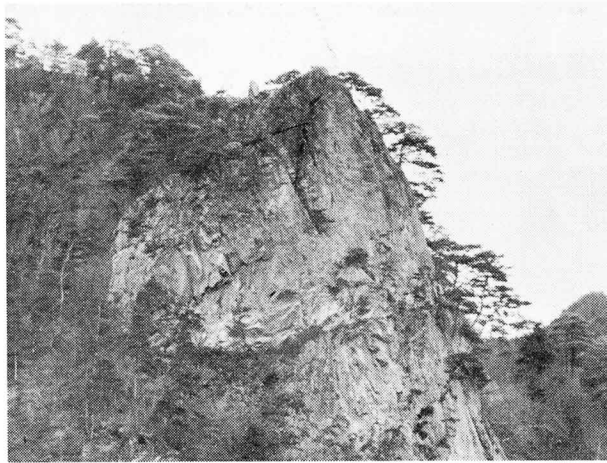


県南教育事務所管内



矢 祭 山

ツツジの名所として、県の最南端に位置する矢祭山は、茨城との県境付近に連なる山々を総称していい、この山地一帯には八溝系の花こう岩が広く分布しています。また、矢祭山公園では、花こう岩の風化で生じた奇峰がそびえたち、棚倉破碎帯にそって流れる久慈川のこのあたり一帯は、そそり立つ絶壁に沿って溪谷が発達しています。

矢祭山の麓にある矢祭神社は、源頼義・義家父子が奥州討伐のさい、矢をまつり戦勝を祈願したと伝えられている。また、境内には“心ある人に見せばやみちのくの 矢祭山の秋の景色を”と刻んだ西行法師の碑が立てられています。